

2 . 第 2 回短期調査協議議事録 (M / M)

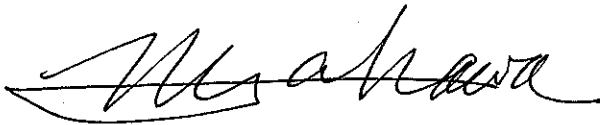
日中協力林木育種科学技術センター計画第2回短期調査
に関する協議議事録

日本国政府は、中華人民共和国の要請を受けて、国際協力事業団（以下「JICA」という）が組織し、宮川秀樹 JICA 森林・自然環境協力部長を団長とする短期調査団（以下「調査団」という）を 2001 年 6 月 24 日から 7 月 5 日までの 12 日間にわたり中華人民共和国に派遣した。

この間、調査団は現地調査を実施するとともに中国側関係者と協議を行い、本計画実施にあたっての必要な事項について付属文書のとおり合意した。

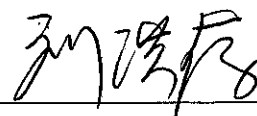
協議議事録は、等しく正文である日本語、中国語による各 2 通を作成した。

北京市 2001 年 7 月 4 日



宮川 秀樹

日本国国際協力事業団
日中協力林木育種科学技術センター計画
第 2 回短期調査団団長



劉 洪存

中華人民共和国
国家林業局国際合作司
副司長

付属文書

1 プロジェクトの枠組み

プロジェクトの枠組みについて、本調査時に双方により確認された内容は以下のとおりである。

ただし、本内容については双方で検討を継続し、日本側及び中国側代表との間で署名される討議議事録（以下 R/D という）によって最終的に合意されることを双方で確認した。

1) プロジェクト名

- (日) 日中協力林木育種科学技術センター計画
- (中) 中日合作林木育種科学技術中心計画

2) 中国側実施体制

- (1) 監督機関 中国国家林業局国際合作司
- (2) 業務調整 中国国家林業局国有林場・林木種苗事業総ステーション
プロジェクト調整弁公室
- (3) 管理機関 中国湖北省林業局、中国安徽省林業庁
- (4) 実施機関 中国日中協力林木育種科学技術センター
- (5) 共同機関 中国湖北省林木種苗管理ステーション
中国安徽省林木種苗総ステーション

3) プロジェクトサイト

中国湖北省武漢市、安徽省合肥市

4) 協力期間

5年間

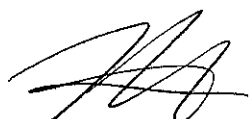
5) プロジェクト基本計画

(1) 上位目標

中国南方各省において林木育種技術が普及され、林木育種事業の基盤が整備される。

(2) プロジェクト目標

日中協力林木育種科学技術センターが事業の推進を念頭に置いた育種技術の開発・普及活動を実施している。



(3) プロジェクト成果

1. 循環選抜育種技術が開発される。
2. 病虫害抵抗性育種技術が開発される。
3. 導入育種技術が開発される。
4. 遺伝資源保存技術が開発される。
5. 改良種苗生産技術が開発される。
6. 研修訓練事業が実施される。

成果の詳細については、別添 PDM において確認した。

(4) プロジェクト活動

- 1-1. 育種事業計画の策定を支援する。
- 1-2. 精英樹等の検定技術を開発する。
- 1-3. 次世代精英樹の選抜技術を開発する。
- 1-4. 次世代精英樹の交配技術を開発する。
- 1-5. 材質等の検定技術を開発する。
- 1-6. 組織培養等増殖技術を開発する。
- 1-7. データベース管理技術を開発する。
- 2-1. ポプラ類のカミキリムシ抵抗性育種技術を開発する。
- 2-2. バビショウのマツノザイセンチュウ抵抗性育種技術を開発する。
- 3-1. 導入樹種の早期選抜・検定技術を開発する。
- 4-1. 遺伝資源の現地保存技術を開発する。
- 4-2. 遺伝資源の現地外保存技術を開発する。
- 4-3. 生殖質等の長期保存方法を開発する。
- 5-1. 育種苗の生産技術を開発する。
- 5-2. 採種園の遺伝的管理技術を開発する。
- 6-1. 研修ニーズの把握及び研修分野の特定を行う。
- 6-2. 技術研修計画を策定する。
- 6-3. 研修インフラの整備を行う。
- 6-4. 研修の管理運営組織を整備する。
- 6-5. 研修を実施する。
- 6-6. 研修の評価を行う。

活動の詳細については、別添 P0 において確認した。

2 プロジェクト実施体制について



1) 複数省にまたがるプロジェクトの運営体制について

湖北省、安徽省にまたがるプロジェクト活動を円滑に実施するため、日中協力林木育種科学技術センター、中国国家林業局国有林場・林木種苗事業総ステーションプロジェクト調整弁公室、湖北省、安徽省の間のプロジェクト運営に係る権限及び調整は中国国家林業局国際合作司が担い、中国側の窓口となることを確認した。

また、湖北省、安徽省の間の技術面での業務調整、南方各省への技術研修の実施及び開発技術の普及についての調整は、中国国家林業局国有林場・林木種苗事業総ステーションプロジェクト調整弁公室が行うことを確認した。詳しくは別紙のとおり。

2) 安徽省での実施体制について

安徽省での活動は、専門家が出張ベースで指導することを確認し、これに伴う施設等の確保、事前の準備等について、安徽省が十分な便宜を図ることを確認した。

3) 苗畑について

プロジェクト活動に必要な苗畑について、中国側が確保することを確認した。

4) 技術開発に必要な素材の提供について

プロジェクトに必要な素材について、中国の法律、法規に従い、中国国家林業局国際合作司、中国国家林業局国有林場・林木種苗事業総ステーションプロジェクト調整弁公室が関係機関との調整を行い、可能な限り提供されることを確認した。

5) データベースについて

プロジェクト活動の一環として作成したデータベースは、日中協力林木育種科学技術センター内で共有することを確認した。

データベースを作成するうえで必要な各種データについては、中国国家林業局国有林場・林木種苗事業総ステーションプロジェクト調整弁公室が関係機関との調整を行い、可能な限り提供されることを確認した。

6) ユリノキの使用許可

希少・貴重樹種であるユリノキを使用する試験研究については、中国の法律、法規に従い、中国国家林業局国有林場・林木種苗事業総ステーションプロジェクト調整弁公室が関係機関との調整を行い、既に許可が取得され、プロジェクトの試験研究に必要な素材の提供が可能な状態であることを確

32



認した。

7) 研修訓練計画について

研修訓練について、次の内容で行うことを確認した。

- ・規模 17回/5年
- ・対象者数 約500人/5年
- ・参集範囲 湖北省、安徽省及び南方各省種苗管理ステーション、国有林場、試験場の技術者
- ・内容 林木育種に関する基礎的内容
- ・講師 カウンターパート、湖北省内の専門家、大学関係者、長期・短期専門家等
- ・研修場所 湖北省林業科学技術ビル 4～6階(予定)

計画及び評価業務は日中協力林木育種科学技術センターが行い、運営管理業務は湖北省林木種苗管理ステーション内に設置される予定の研修管理部が行うことを確認した。

研修用施設整備に必要な経費の負担については、経費概算額を中国側が算出したのち、日本側、中国側双方が負担の比率について検討することを確認した。

8) プロジェクト実施スケジュールについて

次のスケジュールに沿って、9月初旬のプロジェクト開始に向けて準備を進めることを確認した。

- ・6月24日～7月5日 短期調査団派遣
- ・7月中旬～7月下旬 プロジェクト・ドキュメント日本側案作成
- ・8月上旬 プロジェクト・ドキュメント日本側最終案及びR/D案を中国側へ送付
- ・8月中旬 R/D締結
- ・9月初旬 プロジェクト開始(専門家派遣)

3 日本側の取るべき措置

1) 長期専門家派遣

- ・チーフアドバイザー
- ・業務調整
- ・選抜育種
- ・抵抗性育種
- ・導入育種・苗畑管理
- ・遺伝資源



2) 短期専門家派遣

関連した分野の短期専門家を必要に応じ派遣する。

3) 研修員受入れ

年間2～4名を受け入れる。受入分野については、日中双方の協議に基づき決定する。

4) 機材供与

日本側の予算措置の範囲内で、プロジェクト活動に必要な機材を供与する。具体的機材については、今後の双方の協議結果に基づき決定する。

4 中国側の取るべき措置

1) 土地・建物等の提供

- (1) 専門家及びカウンターパートの執務室
- (2) 試験研究施設
- (3) 研修施設
- (4) 苗畑
- (5) 試験林
- (6) その他関連施設

2) カウンターパート等の配置

(1) プロジェクトの長

- ・プロジェクトディレクター

中国国家林業局国有林場・林木種苗事業総ステーションプロジェクト調整弁公室主任

- ・プロジェクトマネージャー

日中協力林木育種科学技術センター長

(2) 日本側専門家の派遣分野に対応したカウンターパート

中国側が、派遣分野に対応したカウンターパートについて別紙リストを示し、プロジェクト実施期間中にカウンターパートを、極力異動させないことを約束した。

また、苗畑の管理運営経験のあるカウンターパートを配置することを確認した。

- (3) 機材管理責任者
- (4) 事務職員
- (5) 運転手

- (6) 通訳
- (7) その他

5 合同委員会の設置について

1) 機能

合同委員会は年一回以上開催し、以下の内容について協議・調整を行う。

- (1) R/Dに基づいてプロジェクトが立案する年間実施計画の審査
- (2) 上記の年間実施計画に基づいて実施された活動内容の評価
- (3) 本計画に関連する問題についての協議

2) 構成

(1) 議長

中国国家林業局国際合作司長

(2) 副議長

中国湖北省林業局長

(3) 中国側構成員

- ・ 国家科学技術部国際合作司代表
- ・ 国家林業局国際合作司代表
- ・ 国家林業局国有林場・林木種苗事業総ステーション代表
- ・ 湖北省林業局代表
- ・ 安徽省林業庁代表
- ・ 湖北省林木種苗管理ステーション代表
- ・ 安徽省林木種苗総ステーション代表
- ・ 中国林業科学研究院代表
- ・ 北京林業大学代表
- ・ 南京林業大学代表
- ・ 湖北省林業科学研究院代表
- ・ プロジェクト関係者代表

(4) 日本側構成員

- ・ チーフアドバイザー
- ・ 業務調整員
- ・ チーフアドバイザーにより指名された専門家
- ・ JICA中国事務所代表
- ・ 必要に応じ、JICAにより派遣された関係者

* 在中国日本大使館員はオブザーバーとして参加できる。

6 その他

1) 本プロジェクトは、日本側代表及び中国側代表の討議議事録 (Record of Discussions: R/D) への署名をもって正式に発効する。



プロジェクト名：日中協力林木育種科学技術センター計画

プロジェクト実施期間：2001年より5年間
 ターゲットグループ：日中協力林木育種科学技術センター技術系職員
 及び南方各省の林木育種技術者

上位目標	指標	指標の入手手段	外部条件
プロジェクトの要約 中国南方各省において林木育種技術が普及され、林木育種事業の基盤が整備される	指標 ・南方各省の林木育種事業が拡大される ・林木育種の技術開発が加速される	指標の入手手段 ・公布される事業実施の通達、基準類 ・公表される事業統計書等数値 ・公表される学術雑誌、講演集	外部条件 ・育種目標、育種区等に関する基本方針（林木育種計画）が発表される ・政府の森林保護政策が継続される ・育種事業実施のための省級の細則、要領等の整備 ・研究管理者が配置される
プロジェクト目標 中日協力林木育種科学技術センターが事業の推進を念頭に置いた育種技術の開発・普及活動を実施している。	指標 ・中日協力林木育種科学技術センター職員の自主的な研究能力が促進される ・林木育種計画が策定されるなどにより、主要樹種について効果的な林木育種が推進、定着し、継続される見込みがたつ ・南方各省から育種事業の責任者及び中堅技術者が研修に参加している	指標の入手手段 ・作成される研究計画書 ・専門家による論文の質の評価 ・公表される事業統計書 ・公表されるマニキュアル、学術雑誌等資料 ・開催される研修会、取得される各種資格	外部条件 ・指導を受ける研究員・訓練を受け技術者が継続して勤務を行う
成果			
1. 精選優良育種技術が開発される	指標 ・精英樹の特性表が作成されていること ・モデル的な次世代精英樹が選抜されていること ・効果的な交配計画が策定されていること		
2. 病虫害抵抗性育種技術が開発される	指標 ・ポプラについては被害の少ない個体及び交雑家系を用いた検定試験地が設定されていること ・バビシヨウについてはマツノザイセンチュウ抵抗性候補木が選抜されていること		
3. 導入育種技術が開発される	指標 ・ポプラ、カラマツの、初期成長優良木が選抜されていること ・ポプラの適応試験地が達成されていること ・トチユウの特性表が作成されていること ・サツサフラスノキの保存林が達成されていること		
4. 遺伝資源保存技術が開発される	指標 ・バビシヨウ、及びコナラ属天然林の遺伝構造が調査され、現地保存方法の基礎情報が得られていること ・ユリノキについて、接ぎ木、挿し木、実生による保存技術の開発が行われていること ・ユリノキについて遺伝的な変異や形態的な特徴に関する調査が実施されていること。		
5. 改良種苗生産技術が開発される	指標 ・コウヨウザン、バビシヨウの育種苗の苗木標準が作成されていること ・精英樹の着花（果）の経年的な調査等が実施され、終了時に種子生産技術の改善方法が明らかにされていること		
6. 研修訓練事業が実施される	指標 ・カリキュラムが作成され、教材が充実していること ・研修の運営管理体制が整い、滞りなく運営されていること		

33

<p>活動</p> <p>1 循環選抜育種技術の開発</p> <p>1-1 湖北省林木育種事業計画の策定を支援する</p> <p>1-2 精英樹等の検定技術を開発する</p> <p>1-3 次世代精英樹の選抜技術を開発する</p> <p>1-4 次世代精英樹の交配技術を開発する</p> <p>1-5 材質等の検定技術を開発する</p> <p>1-6 組織培養等増殖技術を開発する</p> <p>1-7 データベース管理技術を開発する</p> <p>2 病虫害抵抗性育種技術の開発</p> <p>2-1 ポプラ類のカミキリムシ抵抗性育種技術を開発する</p> <p>2-2 バビショウのマツノザイセンチュウ抵抗性育種技術を開発する</p> <p>3 導入育種技術の開発</p> <p>3-1 導入樹種の早期選抜・検定技術を開発する</p> <p>4 遺伝資源保存技術の開発</p> <p>4-1 遺伝資源の現地保存技術を開発する</p> <p>4-2 遺伝資源の現地外保存技術を開発する</p> <p>4-3 生殖質等の長期保存方法を開発する。</p> <p>5 改良種苗の生産技術の開発</p> <p>5-1 育種苗の生産技術を開発する</p> <p>5-2 採種園の遺伝的管理技術を開発する</p> <p>6 研修訓練事業の実施</p> <p>6-1 研修ニーズの把握及び研修分野の特定を行う</p> <p>6-2 技術研修計画を策定する</p> <p>6-3 研修インフラの整備を行う</p> <p>6-4 研修の管理運営組織を整備する</p> <p>6-5 研修を実施する</p> <p>6-6 研修の評価を行う</p>	<p>日本側</p> <p>1. 長期専門家</p> <p>2. 短期専門家</p> <p>3. 研修生受入</p> <p>4. 施設・機材</p> <p>5. その他</p>	<p>中国側</p> <p>1. カウンターパートの配置</p> <p>2. 土地及び施設</p> <p>3. プロジェクト運営資金</p> <p>4. 機材</p>	<p>・異常気象、病虫害などで、試験林、種苗などが大きな被害を受けない</p> <p>・機材の通関輸送手続きなどが大幅に遅れない</p> <p>前提条件</p> <p>・林木育種科学技術センターの技術系職員が、プロジェクト活動（技術移転、研修訓練）を受け入れる</p>
--	--	---	--

20

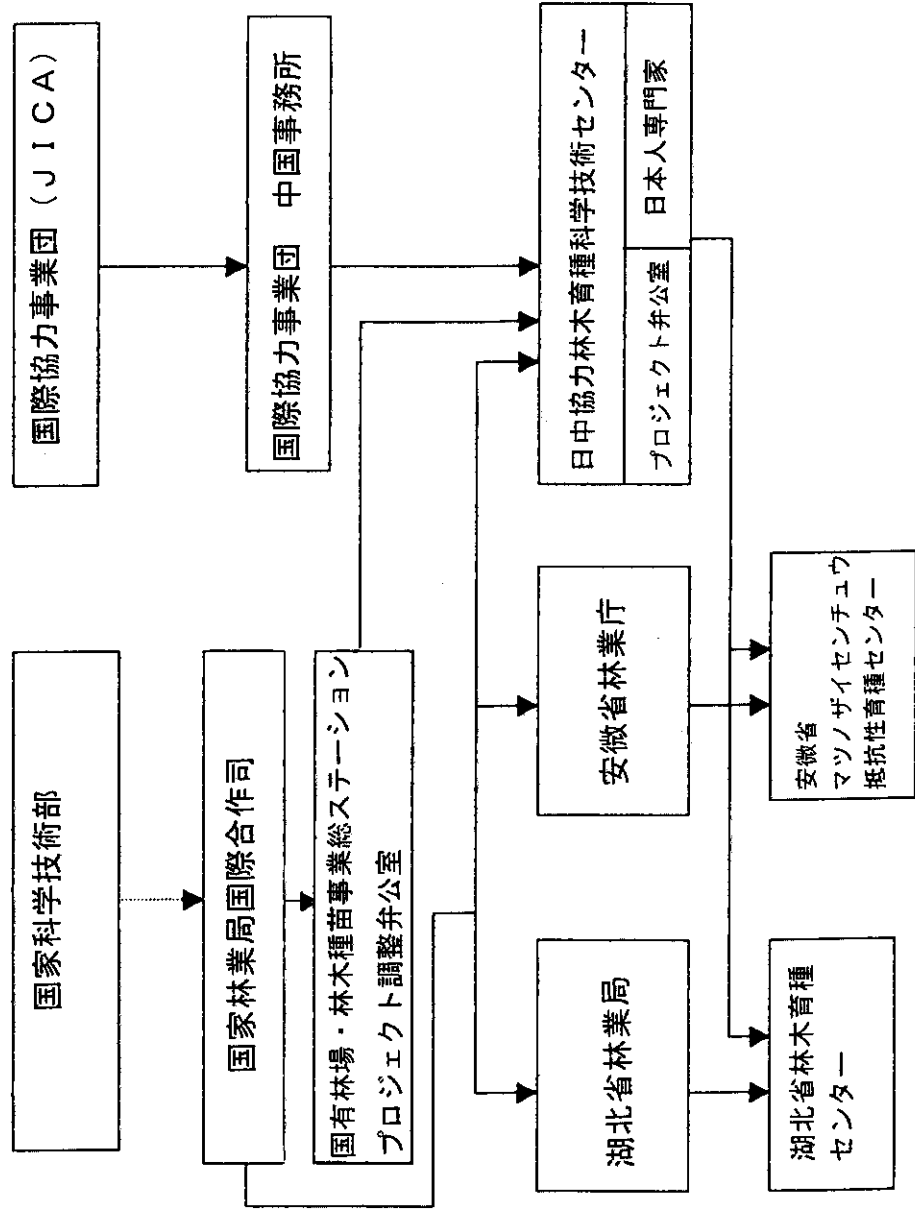


日中協力林木育種科学技術センター計画の全体活動計画(PO)

3M

課題番号	活動	達成目標			
		2001 I II III IV	2002 I II III IV	2003 I II III IV	2004 I II III IV
I	<p>循環選抜育種技術の開発</p> <p>湖北省林木育種事業計画の策定支援</p> <p>精英樹等の検定技術の開発</p> <p>次世代精英樹の選抜技術の開発</p> <p>次世代精英樹の交配技術の開発</p> <p>材質等の検定技術の開発</p> <p>組織培養等増殖技術の開発</p> <p>データベース管理技術の開発</p>	<p>循環選抜育種を進める上で必要な検定、選抜、交配及び増殖等の育種技術開発の見通しがつく</p> <p>湖北省における林木育種事業が計画的、合理的に推進されている</p> <p>DNA分析による精英樹の個体識別、成長、材質等検定調査資料が作成される</p> <p>次世代精英樹の選抜と広葉樹の精英樹の選抜保存に見通しがつく</p> <p>交雑による次世代集団を育成する交配様式、交配組み合わせの開発に向けて着手する</p> <p>精英樹等の材質形質の変異が把握され、データベース化される</p> <p>増殖困難な樹種の増殖技術の開発が進む</p> <p>林木育種、遺伝資源に関する情報の管理、利用技術が開発される</p>	<p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p>	<p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p>	<p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p>
II	<p>病虫害抵抗性育種技術の開発</p> <p>ポプラ類のカミキリムシ抵抗性育種技術の開発</p> <p>パビシヨウのマツノザイセンチュウ抵抗性育種技術の開発</p>	<p>病虫害抵抗性育種技術が移転され、抵抗性個体選抜の見通しがつく</p> <p>ポプラ類のカミキリムシ抵抗性育種のための素材が収集される</p> <p>パビシヨウのマツノザイセンチュウ抵抗性候補木が選抜される</p>	<p>短</p> <p>短</p> <p>短</p>	<p>短</p> <p>短</p> <p>短</p>	<p>短</p> <p>短</p> <p>短</p>
III	<p>導入育種技術の開発</p> <p>導入樹種の早期選抜・検定技術の開発</p>	<p>初期成長優良クローン等の早期選抜技術の開発の見通しがつく</p> <p>ポプラ、カラマツの初期成長優良木の選抜、ポプラ適応試験林の造成、トチュウの特性表の作成、及びサッサフラスノキの保存林の造成が行われている</p>	<p>短</p> <p>短</p>	<p>短</p> <p>短</p>	<p>短</p> <p>短</p>
IV	<p>遺伝資源保存技術の開発</p> <p>遺伝資源の現地保存技術の開発</p> <p>遺伝資源の現地外保存技術の開発</p> <p>生質質等の長期保存技術の開発</p>	<p>遺伝資源保存技術の開発の見通しがつく</p> <p>パビシヨウとコナラ属天然林について遺伝構造を調査し、現地保存方法の基礎資料が得られる</p> <p>ユリノキの遺伝的変異や形態的特徴が明らかになり、遺伝資源として保存される。</p> <p>種子や花粉等が保存され、豊凶にかかわらず配付できる</p>	<p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p>	<p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p>	<p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p>
V	<p>改良種苗の生産技術の開発</p> <p>育種苗の生産技術の開発</p> <p>採種圃の遺伝的・管理的技術の開発</p>	<p>育種苗の生産技術の開発の見通しがつく</p> <p>育種苗の基苗標準が作成される</p> <p>優良種子の生産技術の開発が進む</p>	<p>短</p> <p>短</p> <p>短</p>	<p>短</p> <p>短</p> <p>短</p>	<p>短</p> <p>短</p> <p>短</p>
VI	<p>研修訓練事業の実施</p> <p>研修の運営管理組織の整備</p> <p>研修のニーズの把握及び研修分野の特定</p> <p>研修インフラの整備</p> <p>技術研修計画策定</p> <p>研修の実施</p> <p>研修の評価実施</p>	<p>研修訓練事業が実施される</p> <p>研修の運営管理組織が整備される</p> <p>研修のニーズが把握され、研修分野が特定される</p> <p>研修インフラが整備される</p> <p>研修計画が策定される</p> <p>研修が実施される</p> <p>研修内容の評価が行われる</p>	<p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p>	<p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p>	<p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p> <p>短</p>

日中協力林木育種科学技術センター組織図

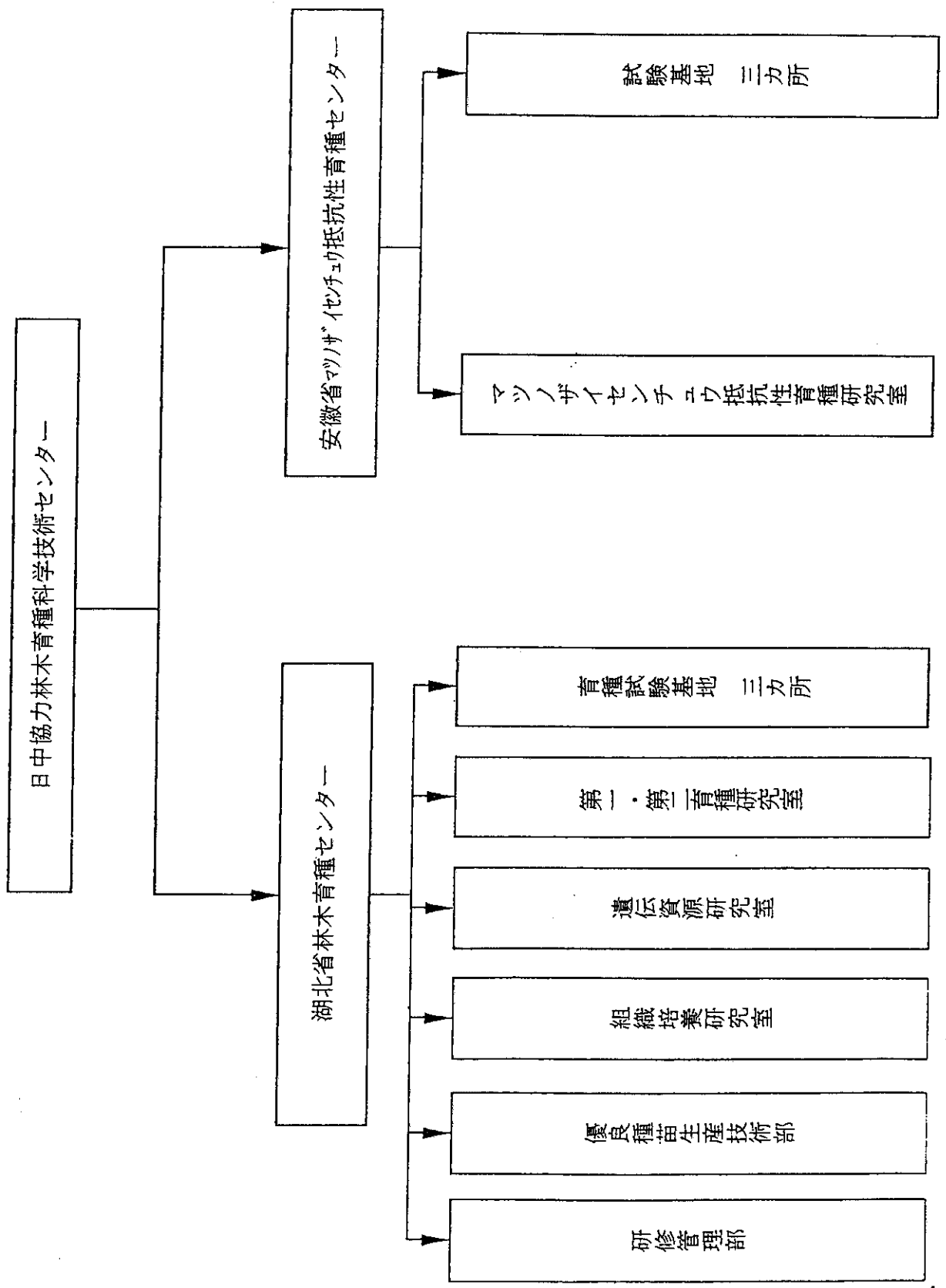


3m

[Handwritten signature]

30

日中協力林木育種科学技術センター 組織図



日中協力林木育種科学技術センタープロジェクトカウンターパート配置(湖北省)

職種		カウンターパート
事務 管理	責任者	洪石(主任)、徐时学(副主任)
	事務職員	胡建伟、杨建平、吕朝辉、秦怀通、汪跃华、刘跃、夏文群
研究 業務	遺伝資源	汪罗荣、陈红林、胡孝义
	無性繁殖	蔡桁、汪建亚、蒋祥娥、丁小飞
	DNA	黄发新、管兰华
	循環選抜	曹建、王宏乾、彭晓刚、徐时学
	データー処理	王建、王玉萍、董梅

日中協力林木育種科学技術センタープロジェクトカウンターパート配置(安徽省)

職種	所属部門	氏名
管理者		张晓渡(副主任)
研究職	育苗	蔡卫兵
	育種	陈风毛
	病虫害防止	高景斌
	林学	席启俊
事務職	会計	杨莉
	事務	陈莉
運転手		朱谦、凌圣祥

注：必要に応じ増員可能

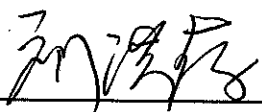
关于中日合作林木育种科学技术中心项目第二次短期调查的 会谈纪要

应中华人民共和国的邀请，日本政府派遣了由国际协力事业团（以下称 JICA）组织以 JICA 森林·自然环境协力部长宫川秀树为团长的事前调查团（以下称调查团），于 2001 年 6 月 24 日至 7 月 5 日，对中华人民共和国进行了为期 12 天的访问。

期间，调查团进行了实地考察，并同中国有关方面进行了协商，就本项目实施的必要事项，达成如下一致意见。

此会谈纪要的正本，由中文、日文两种文本书就，两种文本具有同等效力。

北京 2001 年 7 月 4 日

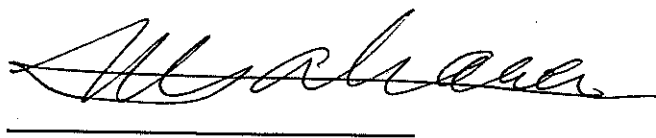


刘 洪存

中华人民共和国国家林业局

国际合作司

副司长



宫川 秀树

日本国国际协力事业团

中日协力林木育种科学技术中心计划

第 2 次短期调查团团长

附件

一、项目框架

双方就项目框架，通过此次调查对其内容确认如下。

双方同意，就这些内容继续磋商，并以中方及日方代表签署的实施协议会谈纪要（以下称 R/D）为最终意见。

1) 项目名称

（中文名）中日合作林木育种科学技术中心项目

（日文名）日中协力林木育种科技中心计划

2) 中国方面实施体制

- | | |
|---------|---------------------------------|
| （1）主管部门 | 中国国家林业局国际合作司 |
| （2）业务协调 | 中国国家林业局国有林场和林木种苗工作总站
项目协调办公室 |
| （3）管理机关 | 中国湖北省林业局、中国安徽省林业厅 |
| （4）实施单位 | 中国中日合作林木育种科学技术中心 |
| （5）协作单位 | 中国湖北省及安徽省林木种苗管理站 |

3) 项目地点

中国湖北省武汉市、安徽省合肥市

4) 合作期限

5年

5) 项目基本计划

（1）预期目标

在中国南方各省普及林木育种技术，完善林木育种事业的基础。

（2）项目目标

中日合作林木育种科学技术中心以推动事业的发展为主要内容，开展育种技术开发和普及活动。

(3) 项目成果

1. 多世代选择育种技术的开发
2. 病虫害抗性育种技术的开发
3. 引进育种技术的开发
4. 遗传资源保存技术的开发
5. 优良种苗生产技术的开发
6. 研修培训

双方就有关成果的详细内容，以附录 PDM 进行了确认。

(4) 项目实施内容

- 1-1. 协助湖北省制定林木育种计划
- 1-2. 优树等测定技术的开发
- 1-3. 子代优树选择技术的开发
- 1-4. 子代优树杂交技术的开发
- 1-5. 材质等测定技术的开发
- 1-6. 组织培养等繁殖技术的开发
- 1-7. 数据库管理技术的开发
- 2-1. 杨树类天牛抗性育种技术的开发
- 2-2. 马尾松松材线虫抗性育种技术的开发
- 3-1. 引进树种早期选拔和测定技术的开发
- 4-1. 遗传资源现地保存技术的开发
- 4-2. 遗传资源异地保存技术的开发
- 4-3. 长期保存生殖质等方法的开发
- 5-1. 良种苗木生产技术的开发
- 5-2. 种子园遗传管理技术的开发
- 6-1. 把握研修需求和确定研修领域
- 6-2. 制定技术研修计划
- 6-3. 完善研修基础设施



6-4. 完善研修管理运行机构

6-5. 开展研修活动

6-6. 评价研修成果

双方就有关活动的详细内容，以附录 PO 进行了确认。

二、项目实施体制

1) 跨省实施项目的运行体制

双方确认，为了顺利实施湖北、安徽两省的项目活动，就中日合作林木育种科学技术中心、国家林业局国有林场和林木种苗工作总站项目协调办公室、湖北省、安徽省项目运行的权限及协调由国家林业局国际合作司负责，并作为中方的窗口。

同时双方确认，两省的业务协调及向其他省份开展技术研修和普及开发技术，由国家林业局国有林场和林木种苗工作总站项目协调办公室负责。

详见组织机构图。

2) 安徽省的实施体制

双方确认，安徽省的项目活动，日本专家将以出差到现场指导的方式进行，安徽省确保必要的实验设施、并提供方便。

3) 苗圃

双方确认，苗圃将配备对口人员或具有管理运行经验的工作人员。

4) 提供技术开发必要的实验用材料

双方确认，在中国有关法律、法规等允许的前提下，就项目所需实验用材料，将由国家林业局国际合作司、国家林业局国有林场和林木种苗工作总站项目协调办公室与有关机构进行协调，尽可能给予提供。

5) 数据库

双方确认，作为项目活动之一建立的数据库，是中日合作林木育种科学技术中心共有的。关于数据库所需各类数据，由国家林业局国有林场和种苗管理总站项目协调办公室与有关机构进行协调，在可能的范围内给予提供。

6) 鹅掌楸的使用许可

双方确认，在中国有关法律、法规等允许的前提下，由国家林业局国有林

场和林木种苗工作站项目协调办公室与有关机构进行协调，尽可能给予提供。

7) 研修培训

双方对研修培训的内容确认如下：

规模	5 年间举办 17 次
对象人数	5 年间约 500 人
培训范围	湖北省、安徽省及南方各省的种苗管理站、良种繁育基地的技术人员
内容	林木育种各有关内容
讲师	对口人员、湖北省内专家、大学教师、长短期专家
地点	湖北省林业科学技术大楼 4—6 层（暂定）

双方确认，对研修计划及评估由中日合作林木育种科学技术中心负责，运行管理业务由湖北省林木种苗管理站下设的研修管理部负责。

就完善研修用设施所必需的经费负担，由中方计算出经费的概算金额后，中日双方就各自负担的比例进行研究。

8) 项目实施时间表

双方确认，根据以下时间表，为 9 月初项目正式启动作准备。

- 6 月 24 日~7 月 5 日 派遣短期调查团
- 7 月中旬-7 月下旬 最终项目文件草案的定稿
- 8 月上旬 送交定稿后的最终项目文件草案和 R/D 草案
- 8 月中旬 签署 R/D
- 9 月上旬 项目开始（派遣专家）

三、日方应采取的措施

1) 长期专家

专家组
业务协调
选择育种
抗性育种
引种与苗圃管理
遗传资源

2) 派遣短期专家

根据需要派遣有关专业的短期专家。

3) 接受研修生

每年接受 2 至 4 名研修生。研修专业由中日双方协商决定。

4) 提供器材

日方将在预算范围内提供项目活动所需器材。具体器材将由今后双方确定。

四、中方应采取的措施

1) 提供土地和建筑物等

- (1) 专家及对口人员的办公室
- (2) 研究实验设施
- (3) 研修设施
- (4) 苗圃
- (5) 实验林
- (6) 其他有关设施

2) 对口人员的配备

(1) 项目的领导

项目负责人：国家林业局国有林场和林木种苗工作总站项目协调办公室主任

项目主任：中日合作林木育种科学技术中心主任

(2) 配备与日方专家专业对应的对口人员

中方配备的与日方专家专业对应的对口人员如附表所示，并承诺在项目实施期间尽可能不较大调整对口人员。

此外，中方确认配备苗圃管理运行有经验的对口人员。

- (3) 器材管理负责人
- (4) 办公人员
- (5) 司机
- (6) 翻译
- (7) 其他

五、联合委员会

1) 职能

联合委员会每年至少召开一次会议，就下述内容做协商与协调。

- (1) 根据 R/D，审查项目的年度实施计划
- (2) 根据上述年度实施计划，评估项目活动内容
- (3) 协调与本项目有关的问题

2) 组成

(1) 主席

中国国家林业局国际合作司司长

(2) 副主席

中国湖北省林业局局长

(3) 中方委员

- 1、国家科学技术部国际合作司代表
- 2、国家林业局国际合作司代表
- 3、国家林业局国有林场和林木种苗工作总站代表
- 4、湖北省林业局代表

- 5、安徽省林业厅代表
- 6、湖北省林木种苗管理站代表
- 7、安徽省林木种苗管理总站代表
- 8、中国林业科学研究院代表
- 9、南京林业大学代表
- 10、北京林业大学代表
- 11、湖北省林业科学研究院代表
- 12、项目代表

(4) 日方委员

- 1、专家组长
- 2、业务协调员
- 3、由专家组长指定的专家
- 4、J I C A中国事务所代表
- 5、根据需要由J I C A派遣的有关人员

注：驻中国日本大使馆员可作为观察员参加会议

六、其他

- 1) 本项目将由中方代表与日方代表签署实施协议会谈纪要 (Record of Discussions; R/D) 之后正式启动。

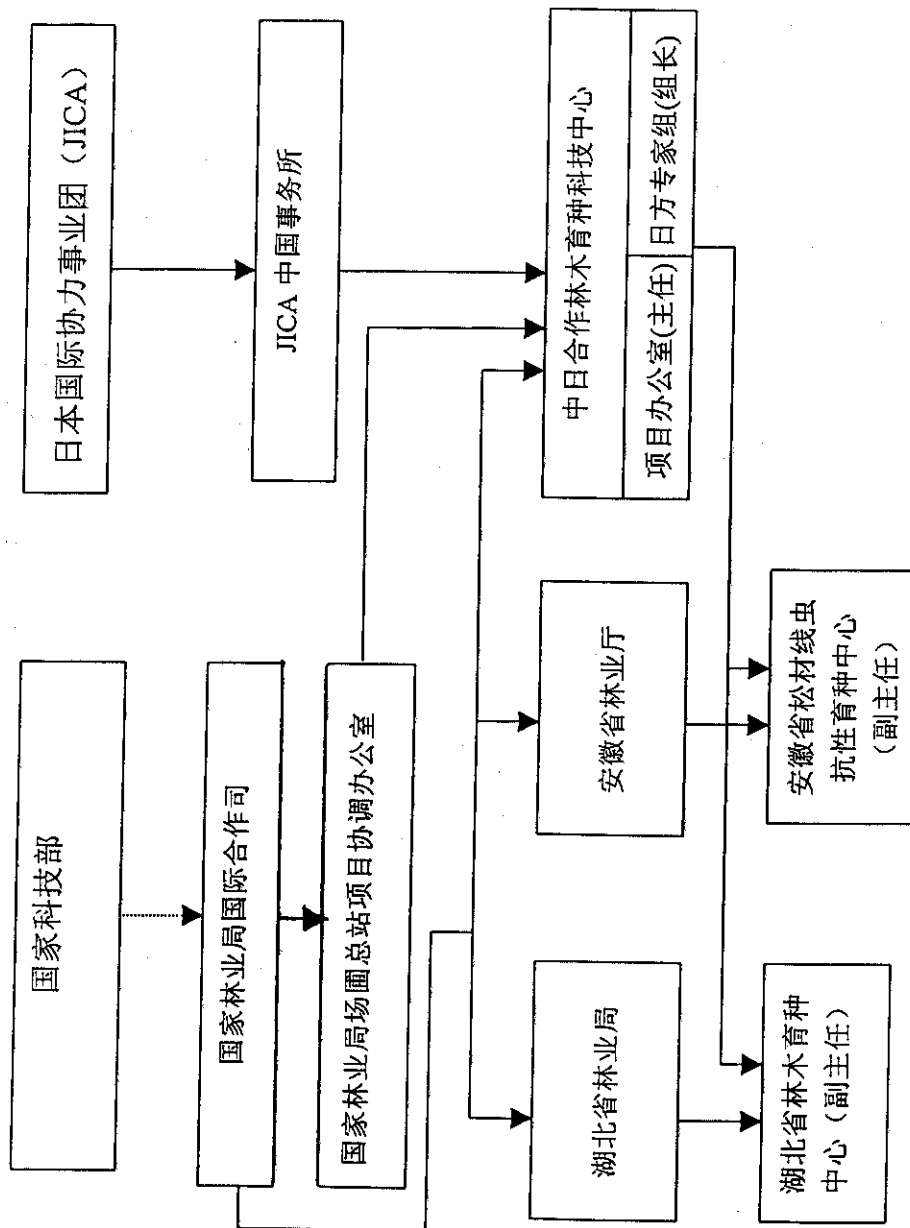


项目名称：中日合作林木育种科学技术中心项目
 项目实施期间：从2001年起五年间
 对象区域：湖北省、安徽省及中国南方各省
 项目对象集团：中日合作林木育种科学技术中心技术人员及中国南方各省的林木育种技术者

项目的概要	指标	作为指标的手段	外部条件
<p>预期目标</p> <p>林木育种技术在中国南方各省普及、并完善林木育种事业的基础</p> <p>项目目标</p> <p>中日合作林木育种科学技术中心、以推进事业化为念头、实施育种技术的开发与普及活动。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中国南方各省育种事业的发展 林木育种负责人的技术开发加速 中日合作林木育种科学技术中心职员的目的 研究能力有进步 经由制定林木育种计划,对主要树种的有效育种技术得以推进、落实,并能继续下去 中国南方各省的育种负责人及中级技术人员来参加研修 	<ul style="list-style-type: none"> 公布的事业实施的通知、标准等 发表的事业统计书等数字 发表的学术杂志、演讲等 完成的研究计划书 由专家对论文的质量进行评估 发表的事业统计书 发表的手册、学术杂志等资料 举办的研讨会、获得的各种资格 	<ul style="list-style-type: none"> 政府发布有关育种目标、育种区(林木育种计划)的基本方针 政府继续采取森林保护政策 完善省级层次的关于实施育种事业的细则,纲领 配置研究管理者
<p>成果</p> <p>1. 开发多世代选择育种技术</p> <p>2. 开发病虫害抗性育种技术</p> <p>3. 开发林木引种技术</p> <p>4. 开发遗传资源保存技术</p> <p>5. 开发改良种苗生产技术</p> <p>6. 实施研修培训事业</p>	<ul style="list-style-type: none"> 做成优树的特性表 选拔出示范性的子代优树 有效地制定交配计划 选择杨树的抗性个体及杂交品种营建测定林 选择出马尾松抗松材线虫的候选树 选择出杨树、落叶松的早期速生品种 营建杨树的适应实验地 做成杜仲的特性表 营建擦树的保存林 调查马尾松及栎树类的天然林的遗传结构、获得当地保存方法的基础资料 开发鹅掌楸着的嫁接、扦插、实生的保存技术 对鹅掌楸的遗传的变异和形态的特征实施调查 对杉树、马尾松的良种制定育苗标准 对优树的着花(果)情况做进行整年的调查、在结束时能掌握种子生产技术的改进方法 制定研修课程,并充实研修教材 完善研修的运行管理体制,研修顺利的运行 		<ul style="list-style-type: none"> 接受指导的研究员继续培训 技术职员继续留在岗位工作

<p>活动</p> <p>1 开发多世代选择育种技术</p> <p>1-1 协助湖北省林木育种事业计划的制定</p> <p>1-2 开发优树等的测定技术</p> <p>1-3 开发子代优树的选择技术</p> <p>1-4 开发子代优树的交配技术</p> <p>1-5 开发材质等的测定技术</p> <p>1-6 开发组织培养等繁殖技术</p> <p>1-7 开发数据库管理技术</p> <p>2 开发病虫害抗性育种技术</p> <p>2-1 开发杨树天牛抗性育种技术</p> <p>2-1 开发马尾松的松材线虫抗性育种技术</p> <p>3 开发林木引种技术</p> <p>3-1 开发引进树种的早期选择及测定技术</p> <p>4 开发遗传资源保存技术</p> <p>4-1 开发遗传资源的原地保存技术</p> <p>4-2 开发遗传资源的异地保存技术</p> <p>4-3 开发生殖质等长期保存技术</p> <p>5 开发改良种苗的生产技术</p> <p>5-1 开发良种苗的生产技术</p> <p>5-2 开发种子园的遗传性管理技术</p> <p>6 实施研修培训事业</p> <p>6-1 完善研修的管理运行机构</p> <p>6-2 掌握研修需要、特定研修领域</p> <p>6-3 制定技术研修计划</p> <p>6-4 完善研修基础设施</p> <p>6-5 实施研修</p> <p>6-6 实施研修评价</p>	<p>投入</p> <p>日本方面</p> <p>1. 长期专家</p> <p>2. 短期专家</p> <p>3. 接受研修生</p> <p>4. 设施与器材</p> <p>5. 其他</p>	<p>中国方面</p> <p>1. 配备对等人员</p> <p>2. 土地及设施</p> <p>3. 项目运行资金</p> <p>4. 器材</p>	<p>· 试验林, 种苗等不因异常气候, 病虫害等受很大的害</p> <p>· 器材等不因海关手续等大幅的延迟</p>	<p>前提条件</p> <p>· 林木育种科学技术中心的技术方面职员接受本项目的活动(技术转让)</p>
---	--	--	---	--

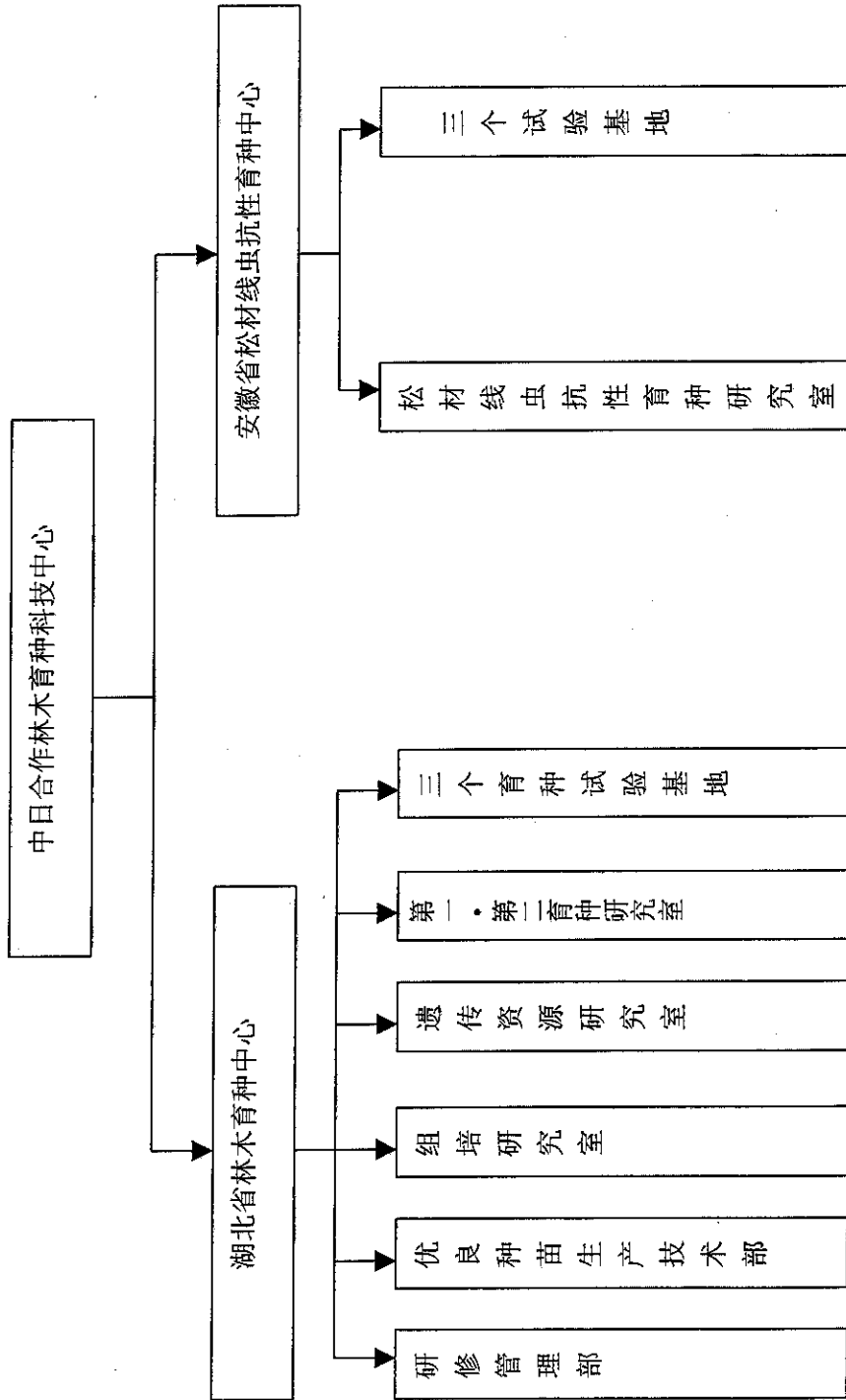
课题编号	活动	达成目标	2001		2002		2003		2004		2005		2006	
			I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
I	开发多世代选择育种技术	开发测定、选择、杂交、繁殖等育种技术以推进多世代选择育种 使湖北省的林木育种事业有计划、合理地发展												
	协助湖北省编制林木育种计划	制作利用DNA分析对优树的个体识别、成长、材质等调查资料 选择子代优树及开展阔叶树的优树保存												
	开发优树等的测定技术	着手开发以杂交方式培育下一代的杂交方法及杂交组合												
	开发子代优树的选拔技术	掌握优树等材质形质的变异,并建立其数据库												
	开发子代优树的杂交技术	推进繁殖困难树种的繁殖技术开发 开发有关林木育种、遗传资源的信息的管理与利用技术												
	开发材质等的测定技术	转让病虫害抗性育种技术、开展抗性个体的选择												
	开发组织培养等繁殖技术	收集杨树类天牛抗性育种的材料												
	开发数据库管理技术	选择马尾松的松材线虫抗性候选树												
	开发病虫害抗性育种技术	推进早期速生品种的早期选择技术的开发												
	开发杨树类天牛抗性育种技术	选择杨树、落叶松早期速生优树、营建杨树的适应试验林、做成杜仲的特性表、及营建橡树的保存林												
II	开发马尾松的松材线虫抗性育种技术	推进遗传资源保存技术的开发 调查马尾松及栎树天然林的遗传结构,获得现地保存方法的 基础资料												
	开发林木引种技术	明白鹅掌楸的遗传性变异与形态的特征、作为 遗传资源保存 保存种子与花粉,不论丰年凶年都能配给												
III	开发早期速生品种的早期选择技术的开发	推进优良种苗的繁育技术的开发 做成良种苗木的育苗标准 进行优良种子的生产技术的开发												
	开发引进树种的早期选择及测定技术	实施研修培训活动 完善研修的运行管理机构 掌握研修需要、确定研修领域 制定技术研修计划 完善研修基础设施 实施研修 研修评价												
IV	开发遗传资源保存技术													
	开发遗传资源的现地保存技术													
V	开发遗传资源的异地保存技术													
	开发生殖质等长期保存技术													
VI	开发改良种苗的生产技术													
	开发良种苗木的生产技术													



Handwritten signature or initials in the top right corner.

Handwritten signature or initials in the bottom right corner.

中日合作林木育种科技中心机构图 之二



中日合作林木育种科学技术中心项目计划对口人员配备(湖北省)

职务		人员
事务管理	负责人	洪石(主任), 徐时学(副主任)
	事物人员	胡建伟,杨建平,吕朝辉,秦怀通,汪跃华,刘跃,夏文群
业务研究	遗传资源	王罗荣,陈红林,胡孝义
	无性繁殖	蔡桁,汪建亚,蒋祥娥,丁小飞
	分子水平	黄发新,管兰华
	循环选择	曹建,王宏乾,彭晓刚,徐时学
	数据处理	王建,王玉萍,董梅

中日合作林木育种科学技术中心项目计划对口人员配备(安徽省)

职务	所属部门	姓名
管理人员	项目	张晓渡(副主任)
研究人员	育苗专业	蔡卫兵
	育种专业	陈风毛
	防治病虫害专业	高景斌
	林学专业	席启俊
事务职员	财务	杨莉
	事务	陈莉
司机	车队	朱谦(队长),凌圣祥

备注: 根据需要可以增加相关人员

到

3 . 討議議事録 (R / D)

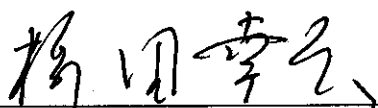
RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE PEOPLE'S REPUBLIC OF CHINA
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE JAPAN-CHINA COOPERATION SCIENCE AND TECHNOLOGY CENTER
FOR FOREST TREE IMPROVEMENT PROJECT

With regard to the Minutes of Meeting between the Preparatory Study Team and Authorities Concerned of The Government of the People's Republic of China dated July 4th, 2001, Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") had a series of discussions, through the Resident Representative of JICA in the Republic of China, with the Chinese authorities concerned on desirable measures to be taken by both Governments for the successful implementation of The Japan-China Cooperation Science and Technology Center for Forest Tree Improvement Project in the Republic of China.

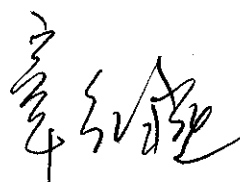
As a result of the discussions, JICA and the Chinese authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Done in duplicate in Japanese Chinese, and English languages, each text being equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

Beijing, September 5, 2001



Mr. Yukihiisa Sakurada
Resident Representative,
China Office,
Japan International Cooperation Agency,



Ms. Zhang Hong Yan
Deputy Director-General,
Department of International Cooperation,
State Forestry Administration,
The People's Republic of China

ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of the People's Republic of China will implement the Japan-China Cooperation Science and Technology Center for Forest Tree Improvement Project (hereinafter referred to as "the Project") in cooperation with the Government of Japan.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in Annex I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take, at its own expense, the following measures through Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") according to the normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of Japan.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

The Government of Japan will provide the services of the Japanese experts as listed in Annex II.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

The Government of Japan will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in Annex III. The Equipment will become the property of the Government of the People's Republic of China upon being delivered C.I.F. (cost, insurance and freight) to the Chinese authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation.

3. TRAINING OF CHINESE PERSONNEL IN JAPAN

The Government of Japan will receive the Chinese personnel connected with the Project for technical training in Japan.

4. SPECIAL MEASURES

To ensure the smooth implementation of the Project, the Government of Japan will take, in accordance with the laws and regulations in force in Japan, special measures through JICA for supplementing a portion of the local cost expenditures necessary for the execution of the physical infrastructure, afforestation promotion program and middle level trainees training program.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE PEOPLE'S REPUBLIC OF CHINA

1. The Government of the People's Republic of China will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all

related authorities, beneficiary groups and institutions.

2. The Government of the People's Republic of China will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Chinese nationals as a result of Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of the People's Republic of China.
3. The Government of the People's Republic of China will grant in the People's Republic of China privileges, exemptions and benefits as listed in Annex IV and will grant privileges, exemptions and benefits no less favorable than those granted to experts of third countries or international organizations performing similar missions to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families.
4. The Government of the People's Republic of China will ensure that the Equipment referred to in II-2 above will be utilized effectively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in Annex II.
5. The Government of the People's Republic of China will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Chinese personnel from technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the laws and regulations in force in the People's Republic of China, the Government of the People's Republic of China will take necessary measures to provide at its own expense:
 - (1) Services of the Chinese counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex V;
 - (2) Land, buildings and facilities as listed in Annex VI;
 - (3) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the Equipment provided through JICA under II-2 above;
 - (4) Means of transport and travel allowances for the Japanese experts for official travel within the People's Republic of China; and
 - (5) Suitably furnished accommodation for the Japanese experts and their families.
7. In accordance with the laws and regulations in force in the People's Republic of China, the Government of the People's Republic of China will take necessary measures to meet:
 - (1) Expenses necessary for transportation within the People's Republic of China of the Equipment referred to in II-2 above as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
 - (2) Customs duties, internal taxes and any other charges imposed in the People's Republic of China on the Equipment referred to in II-2 above; and
 - (3) Running expenses necessary for the implementation of the Project.

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. Director of Project Coordination Office, General Administration of State Forest Farms, Tree Seeds and Seedlings, State Forestry Administration, as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. Director of the Japan-China Cooperation Science and Technology Center for Forest Tree Improvement, as the Project Manager, will be responsible for the managerial and technical matters of the Project.
3. The Japanese Chief Advisor will provide necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Manager on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to the Chinese counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
5. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in Annex VII.
6. The Organizational Chart of the Project is shown in Annex VIII.

V. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be conducted jointly by the two Governments through JICA and the Chinese authorities concerned, at the middle and during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of the People's Republic of China undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the People's Republic of China except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of the People's Republic of China, the Government of the People's Republic of China will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of the People's Republic of China.

IX. TERM OF COOPERATION

The duration of technical cooperation for the Project under this Attached Document will be five (5) years from October 18, 2001.

- ANNEX I MASTER PLAN
- ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS
- ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT
- ANNEX IV PRIVILEGES, EXEMPTION AND BENEFITS FOR JAPANESE EXPERTS
- ANNEX V LIST OF CHINESE COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL
- ANNEX VI LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES
- ANNEX VII JOINT COORDINATING COMMITTEE
- ANNEX VIII ORGANIZATIONAL CHART OF THE PROJECT

ANNEX I MASTER PLAN

1. Overall Goal

Bases for forest tree breeding are established in southern provinces of the People's Republic of China, through extension of technologies developed by the Project.

2. Project Purpose

The Japan-China Cooperation Science and Technology Center for Forest Tree Improvement acquires technical capacity to sustain forest tree breeding.

3. Outputs of the Project

- (1) Techniques for recurrent selection breeding are developed. (Hubei Province)
- (2) Techniques for resistance breeding are developed. (Anhui and Hubei Province)
- (3) Techniques for introduction breeding are developed. (Hubei Province)
- (4) Techniques for genetic resources preservation are developed. (Hubei Province)
- (5) Techniques for improving seedling production are developed. (Hubei Province)
- (6) Techniques for forest tree improvement are disseminated among technical staffs of southern provinces by training programs. (Hubei Province)

4. Activities of the Project

- 1-1 to support development of a plan for forest tree breeding in Hubei
- 1-2 to develop techniques for testing of plus trees
- 1-3 to develop techniques for selection of advanced generation plus trees
- 1-4 to develop techniques for progeny plus tree crossbreeding of advanced generation plus trees
- 1-5 to develop techniques for testing of wood quality and other features
- 1-6 to develop techniques for propagation by tissue culture and relevant methods
- 1-7 to develop techniques of database management
- 2-1 to develop resistance breeding techniques against populus longhorned beetle
- 2-2 to develop resistance breeding techniques for *Pinus massoniana* against *Bursaphelenchus xylophilus*
- 3-1 to develop techniques for early-selection of introduced fast growing tree species and some indigenous tree species
- 4-1 to develop techniques for *in-situ* conservation of genetic resources
- 4-2 to develop techniques for *ex-situ* conservation of genetic resources
- 4-3 to develop techniques for long-term conservation of germplasm and other live materials
- 5-1 to develop techniques for seedling production
- 5-2 to develop techniques for genetic management of seed orchards
- 6-1 to establish the managerial organization for training
- 6-2 to grasp needs for training and specify the fields of training
- 6-3 to develop the plan for technical training
- 6-4 to execute training
- 6-5 to evaluate training

In case in which the Master Plan should be changed due to the situation of the Project, both Governments will agree to and confirm the changes by exchanging Minutes of Meeting.

ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS

1. Chief Advisor
2. Coordinator
3. Long-term experts in the following technical fields;
 - 1) Selection Breeding
 - 2) Resistance Breeding
 - 3) Introduction Breeding/Nursery Management
 - 4) Genetic Resources

Note: Chief Advisor and Coordinator may serve concurrently as one of these experts.

4. Short-term experts in related fields will be dispatched as necessary for smooth implementation of the Project.

ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. Machinery, equipment, tools, spare parts, and materials in the following technical fields;
 - 1) Selection Breeding
 - 2) Resistance Breeding
 - 3) Introduction Breeding/Nursery Management
 - 4) Genetic Resources
2. Vehicles and other equipment necessary for the implementation of the Project

ANNEX IV PRIVILEGES, EXEMPTION AND BENEFITS FOR JAPANESE EXPERTS

1. The Government of the People's Republic of China will grant exemptions from income tax and charges of any kind of imposed on or in connection with the allowance remitted from abroad.
2. The Government of the People's Republic of China will grant exemptions from customs duties on the importation of personal effects by the Japanese experts and their families as well as on the importation of machinery and equipment related to their activities.
3. The Government of the People's Republic of China will provide medical services.

ANNEX V LIST OF CHINESE COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Project Director: Director of Project Coordination Office. General Administration of State Forest Farms, Tree Seeds and Seedlings. State Forestry Administration
2. Project Manager: Director of the Japan-China Cooperation Science and Technology Center for Forest Tree Improvement
3. Counterparts in the field of;
 - 1) Selection Breeding
 - 2) Resistance Breeding
 - 3) Introduction Breeding / Nursery Management
 - 4) Genetic Resources
4. Administrative personnel
 - 1) Administration staff
 - 2) Accounting staff
 - 3) Interpreters
 - 4) Drivers
 - 5) Other necessary supporting staff

ANNEX VI LIST OF LAND, BUILDINGS, AND FACILITIES

1. Land for
 - 1) Project Offices and related facilities
 - 2) Nursery and Test plantation
2. Buildings and Facilities for
 - 1) Project Offices
 - 2) Expert Rooms
 - 3) Administrative Rooms
 - 4) Training facilities
 - 5) Others

ANNEX VII. JOINT COORDINATING COMMITTEE

1. Functions

The Joint Coordinating Committee will meet at least once a year or whenever necessity arises, and work:

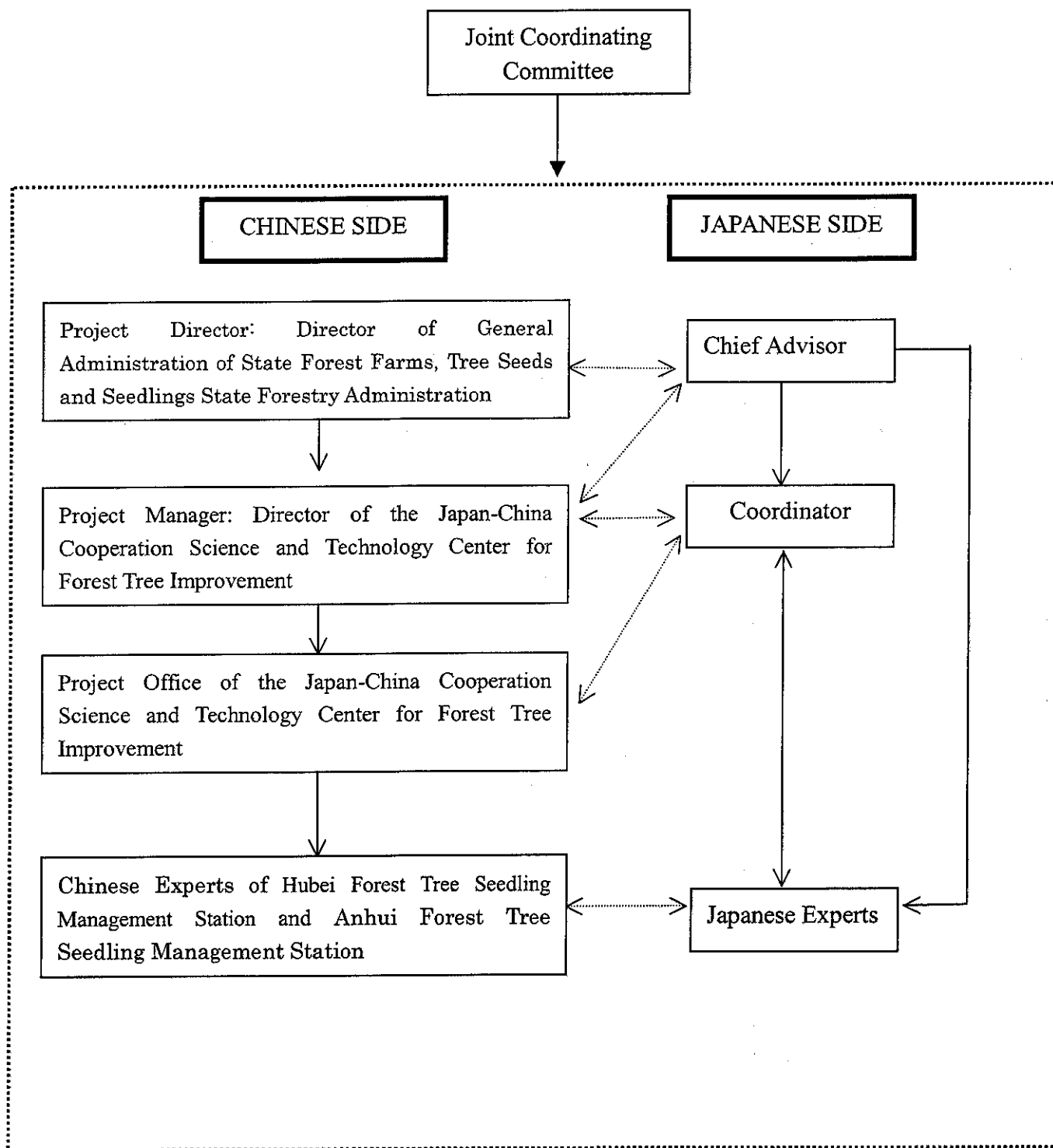
- 1) To approve the Annual Plan of Operation formulated by the Project in accordance with the Record of Discussions;
- 2) To review the overall progress of the technical cooperation program and activities carried out under the above-mentioned Annual Plan of Operation in particular; and
- 3) To review and exchange views on major issues arising from or in connection with the technical cooperation program.

2. Composition

- 1) Chairperson: Director-General, Department of International Cooperation,
State Forestry Administration, People's Republic of China
- 2) Vice-Chairpersons: Director of Forestry Bureau of Hubei Province
- 3) Chinese side
 - (1) Representative, Department of International Cooperation, Ministry of Science and Technology
 - (2) Representative, Department of International Cooperation, State Forestry Administration
 - (3) Representative, General Administration of State Forest Farms, Tree Seeds and Seedlings State Forestry Administration
 - (4) Representative, Forestry Department of Hubei Province
 - (5) Representative, Forestry Department of Anhui Province
 - (6) Representative, Hubei Forest Tree Seedling Management Station
 - (7) Representative, Anhui Forest Tree Seedling Management Station
 - (8) Representative, Chinese Academy of Forestry
 - (9) Representative, Beijing Forestry University
 - (10) Representative, Nanking Forestry University
 - (11) Representative, Hubei Academy of Forestry
 - (12) Director of General Administration of State Forest Farms, Tree Seeds and Seedlings State Forestry Administration
 - (13) Director of the Japan-China Cooperation Science and Technology Center for Forest Tree Improvement
 - (14) Representative, the Persons concerned with the Project
- 4) Japanese side
 - (1) Chief Advisor
 - (2) Coordinator
 - (3) Experts appointed by the Chief Advisor
 - (4) Representative, JICA China Office
 - (5) Personnel concerned to be dispatched by JICA, if necessary

Note: Official(s) of the Embassy of Japan may attend the Joint Coordinating Committee meeting as observer(s). Chairperson can request the attendance of official(s) if necessary.

ANNEX VIII ORGANIZATIONAL CHART OF THE JAPAN-CHINA COOPERATION
SCIENCE AND TECHNOLOGY CENTER FOR FOREST TREE
IMPROVEMENT PROJECT



[Handwritten signature]

2

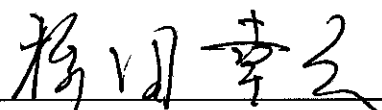
日中協力林木育種科学技術センター計画に係る
日本の技術協力に関する国際協力事業団と
中華人民共和国政府関係当局との討議議事録

2001年7月4日付けの日本側短期調査団と中華人民共和国との協議議事録に関連し、国際協力事業団（以下「JICA」という）は、JICA中国事務所長を通じて、中華人民共和国政府関係当局と、日中協力林木育種科学技術センター計画の有効な実施のため、両国政府がとるべき必要な措置に関し討議を続けた。

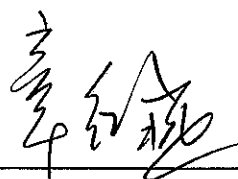
討議の結果、双方はそれぞれの政府に対し附属文書に記載する諸事項について勧告することに同意した。

等しく正文である日本語、中国語及び英語による本書を各々2通を作成した。解釈に相違がある場合には、英語の本文による。

北京市 2001年9月5日



櫻田 幸久
日本国国際協力事業団
中国事務所長



章 紅燕
中華人民共和国国家林業局
国際合作司 副司長

附属文書

I 両国政府の協力

- 1 日本国政府と中華人民共和国政府は、日中協力林木育種科学技術センター計画（以下「当該計画」という）の実施につき相互に協力を行う。
- 2 当該計画は附表 I の基本計画に基づいて実施される。

II 日本国政府によって取られる措置

日本国政府は、日本国において施行されている法律及び規則に従い、日本国政府の技術協力計画の通常手続きにより、日本国政府負担により、JICAを通じて以下の措置を取る。

- 1 日本人専門家の派遣
日本国政府は附表 II に掲げる日本人専門家を派遣する。
- 2 機材供与
日本国政府は附表 III に掲げる当該計画の実施に必要な資機材（以下「機材」という）を供与する。機材は、陸揚げ港あるいは空港にて中華人民共和国側関係当局へ C I F 建てにて引き渡されることにより、中華人民共和国政府の所有となる。
- 3 研修員受入れ
日本国政府は、日本における技術研修のため当該計画に関係する中国人を受け入れる。
- 4 特別措置
日本国政府は、日本国において施行されている法律及び規則に従い、当該計画の円滑な実施を保証するために、基盤整備、造林の推進及び中堅技術者の養成に必要な経費の一部を、JICA を通じて負担する特別措置をとる。

III 中華人民共和国政府によって取られる措置

- 1 中華人民共和国政府は、全ての関係者、受益者グループ及び団体を当該計画に積極的に参加させることにより、日本の技術協力期間中及び終了後、当該計画の自立的運営が持続されることを確保するために、必要な措置を取る。
- 2 中華人民共和国政府は、日本の技術協力の結果として中国国民が獲得する技術及び知識が、中国の経済及び社会発展に貢献することを確保する。
- 3 中華人民共和国政府は、上記 II-1 にいう日本人専門家及びその家族に対し附表 IV に掲げる特別待遇、免税及び便宜を与えると共に、同様の任務を遂行する第三国または国際機関の専門家に劣らない特別待遇、免税及び便宜を与える。
- 4 中華人民共和国政府は、上記 II-2 にいう機材が附表 II に掲げる日本人専門家との協議のもとに、当該計画実施のために有効に使用されることを確保する。
- 5 中華人民共和国政府は、中国人が日本における技術研修から得た知識及び経験が、

2

当該計画実施のために有効に用いられることを確保するために必要な措置を取る。

6 中華人民共和国において施行されている法律及び規制に従い、中華人民共和国政府は中華人民共和国側の負担において、当該計画へ下記のものを提供するために必要な措置を取る。

- (1) 附表Vに掲げる中国人カウンターパート及び事務職員の配置
- (2) 附表VIIに掲げる土地、建物及び附帯施設
- (3) 上記II-2のJICAを通じて供与される機材以外の、当該計画実施に必要な機材、器具、計器、車両、工具予備部品及びその他の物品の調達もしくは取替
- (4) 中華人民共和国における日本人専門家の公務出張に対する交通の便宜及び市内交通費
- (5) 日本人専門家及びその家族に対する適当な家具付きの住居施設

7 中華人民共和国において施行されている法律及び規制に従い、次の必要な措置を取る。

- (1) 上記II-2に掲げる機材の中華人民共和国における輸送、据付け、操作及び維持に必要な経費
- (2) 上記II-2に掲げる機材に対し、中華人民共和国において課せられる関税、国内税及びその他の課徴金
- (3) 当該計画実施に必要な運営費

IV 当該計画の管理

- 1 中国国家林業局国有林場・林木種苗事業総ステーションプロジェクト調整弁公室主任は、プロジェクトディレクターとして、当該計画の管理及び実施に係る全体の責任を負う。
- 2 日中協力林木育種科学技術センター長は、プロジェクトマネージャーとして、当該計画の運営及び管理について責任を負う。
- 3 日本人チーフアドバイザーは、当該計画の実施に関する事項に関し当該計画の長に対し、必要な提言及び助言を与える。
- 4 日本人専門家は、中国人カウンターパートに対して当該計画の実施に関する技術的事項において、必要な技術的提言及び助言を与える。
- 5 当該計画を効果的かつ成功裡に実施するために、附表VIIIに記述される機能及び構成による合同委員会が設置される。
- 6 当該計画に係る組織図は附表VIIIの通りである。

V 合同評価

当該計画の評価は、協力期間の中間時及び終了前6ヶ月の間に、達成レベルを検討するためにJICAと中華人民共和国関係当局を通じて、両国政府により行われる。

VI 日本人専門家に対する請求

中華人民共和国政府は、日本人専門家の中華人民共和国国内における職務の遂行に起因し、またはその遂行中もしくはその遂行に関連して、日本人専門家に対する請求事由が発生した場合には、日本人専門家の故意または重大な過失による場合を除き、その請求に関する責任を負う。

VII 相互協議

両国政府は、本附属文書から生ずる、あるいは本附属文書に関連する主要事項について相互に協議を行う。

VIII 当該計画に関する理解及び支援の促進

中華人民共和国政府は、当該計画に対する中華人民共和国国内における理解及び支援の促進のため、当該計画を中華人民共和国人民に広く知らしめるために必要な措置を取る。

IX 協力期間

この附属文書における当該計画のための技術協力期間は、2001年10月18日から5年間とする。

- 附表I 基本計画
- 附表II 日本人専門家
- 附表III 機材及び機器
- 附表IV 日本人専門家に対する特別待遇、免除及び便宜
- 附表V カウンターパート及び事務職員リスト
- 附表VI 土地、建物及び附帯施設リスト
- 附表VII 合同委員会
- 附表VIII プロジェクト組織図

附表 I 基本計画

○ 上位目標

プロジェクト成果の普及を通じ、中国南方各省において林木育種事業の基盤が整備される。

○ プロジェクト目標

日中協力林木育種科学技術センターが、林木育種事業の持続に必要な技術能力を獲得している。

○ プロジェクト成果

1. 循環選抜育種技術が開発される。(湖北省)
2. 病虫害抵抗性育種技術が開発される。(安徽省、湖北省)
3. 導入育種技術が開発される。(湖北省)
4. 遺伝資源保存技術が開発される。(湖北省)
5. 改良種苗生産技術が開発される。(湖北省)
6. 研修訓練事業により、南方各省の技術職員に林木育種技術が普及される。(湖北省)

○ プロジェクト活動

- 1-1. 湖北省林木育種事業計画の策定を支援する。
- 1-2. 精英樹等の検定技術を開発する。
- 1-3. 次世代精英樹の選抜技術を開発する。
- 1-4. 次世代精英樹の交配技術を開発する。
- 1-5. 材質等の検定技術を開発する。
- 1-6. 組織培養等増殖技術を開発する。
- 1-7. データベース管理技術を開発する。
- 2-1. ポプラ類のカミキリムシ抵抗性育種技術を開発する。
- 2-2. バビショウのマツノザイセンチュウ抵抗性育種技術を開発する。
- 3-1. 導入早生樹種等の早期選抜技術を開発する。
- 4-1. 遺伝資源の現地保存技術を開発する。
- 4-2. 遺伝資源の現地外保存技術を開発する。
- 4-3. 生殖質等の長期保存技術を開発する。
- 5-1. 育種苗の生産技術を開発する。
- 5-2. 採種園の遺伝的管理技術を開発する。
- 6-1. 研修の管理運営組織を整備する。
- 6-2. 研修ニーズの把握及び研修分野の特定を行う。
- 6-3. 技術研修計画を策定する。
- 6-4. 研修を実施する。
- 6-5. 研修の評価を行う。

附表Ⅱ 日本人専門家リスト

- 1 チーフアドバイザー
- 2 業務調整員
- 3 下記の分野の長期専門家
 - 1) 選抜育種
 - 2) 抵抗性育種
 - 3) 導入育種・苗畑管理
 - 4) 遺伝資源

注記：チーフアドバイザー並びに業務調整員は上記長期専門家の分野を兼任することができる。

- 4 当該計画の円滑な実施に必要な関連分野の短期専門家が派遣される

附表Ⅲ 機材及び機器

- 1 下記の分野における必要な機材、機器、器具、スペアパーツ、資材等
 - 1) 選抜育種
 - 2) 抵抗性育種
 - 3) 導入育種・苗畑管理
 - 4) 遺伝資源
- 2 当該計画の実施に必要な車両その他の資機材

附表Ⅳ 日本人専門家に対する特別待遇、免除及び便宜

- 1 中華人民共和国政府は、海外から送金される報酬またはこれに関連して課せられる、所得税及びその他課徴金を免除する。
- 2 中華人民共和国政府は、日本人専門家及びその家族の持ち込む個人的私用品及び業務に関連する機材に対して関税を免除する。
- 3 中華人民共和国政府は、医療の便宜を提供する。

附表V カウンターパート及び事務職員リスト

- 1 プロジェクトディレクター
中国国家林業局国有林場・林木種苗事業総ステーションプロジェクト調整弁公室
主任
- 2 プロジェクトマネージャー
日中協力林木育種科学技術センター長
- 3 下記の分野におけるカウンターパート
 - 1) 選抜育種
 - 2) 抵抗性育種
 - 3) 導入育種・苗畑管理
 - 4) 遺伝資源
- 5 事務職員等
 - 1) 管理職員
 - 2) 経理職員
 - 3) 通訳
 - 4) 運転手
 - 5) その他必要な職員

附表VI 土地、建物及び附帯施設リスト

- 1 土地
 - 1) プロジェクトオフィス及び関連施設用地
 - 2) 苗畑及び試験林
- 2 建物及び施設
 - 1) プロジェクトオフィス
 - 2) 専門家執務室
 - 3) 事務室
 - 4) 訓練用教室及び関連施設
 - 5) その他

Z

附表Ⅶ 合同委員会

1 機能

合同委員会は、少なくとも年一回、また必要が生じたときに開催し、次の機能を持つものとする。

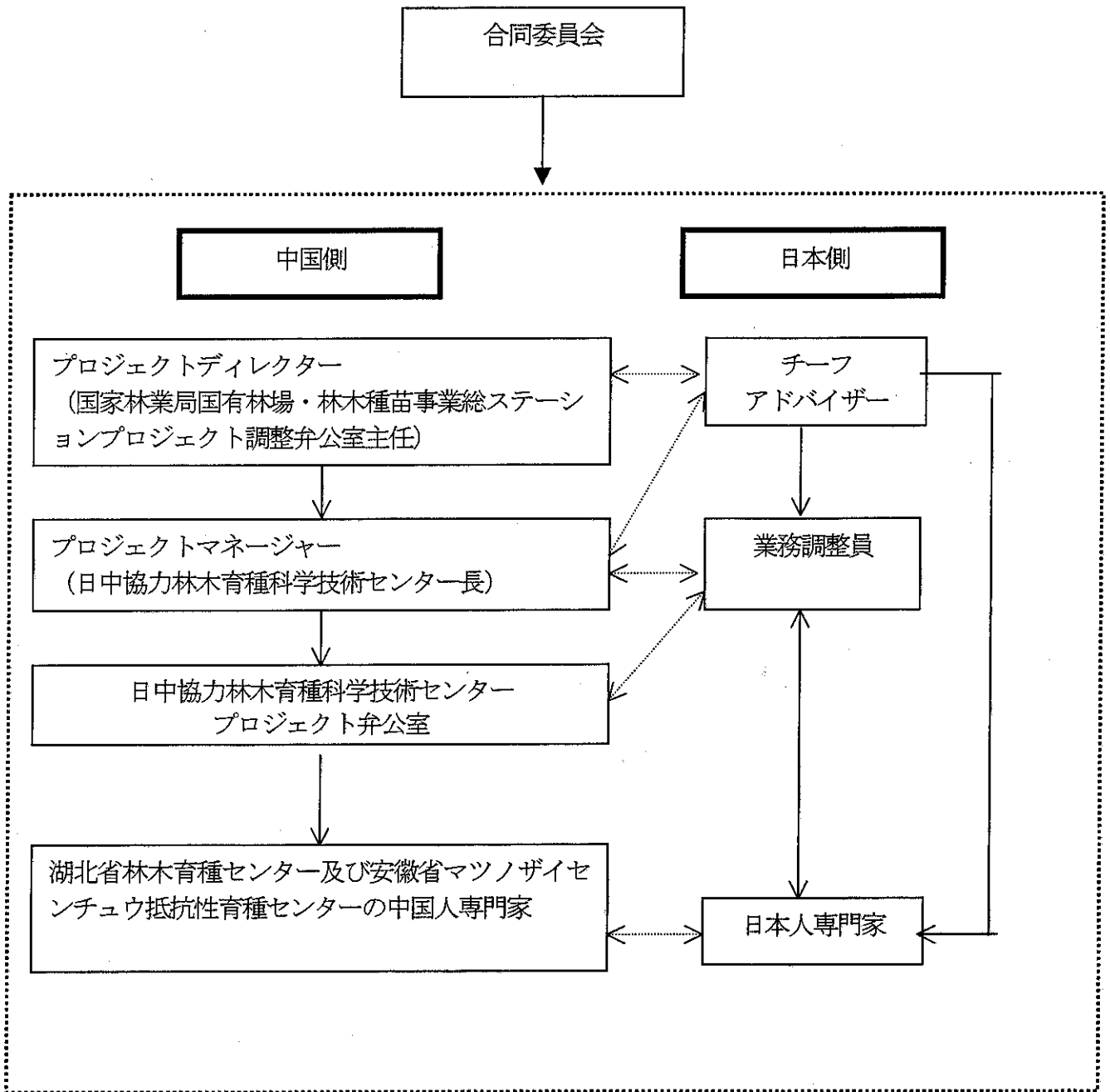
- 1) 討議議事録に沿って策定される当該計画の年次活動計画を承認する
- 2) 上記の年次計画により遂行される技術協力活動の全体の進捗に関する検討を行う
- 3) 技術協力活動から生ずる、あるいは技術協力活動に関連する主要事項につき、検討し意見交換を行う

2 構成

- 1) 議長 中国国家林業局国際合作司長
- 2) 副議長 中国湖北省林業局長
- 3) 中国側構成員
 - ・ 国家科学技術部国際合作司代表
 - ・ 国家林業局国際合作司代表
 - ・ 国家林業局国有林場・林木種苗事業総ステーション代表
 - ・ 湖北省林業局代表
 - ・ 安徽省林業庁代表
 - ・ 湖北省林木種苗管理ステーション代表
 - ・ 安徽省林木種苗総ステーション代表
 - ・ 中国林業科学研究院代表
 - ・ 北京林業大学代表
 - ・ 南京林業大学代表
 - ・ 湖北省林業科学研究院代表
 - ・ 国家林業局国有林場・林木種苗事業総ステーションプロジェクト調整弁公室主任
 - ・ 日中協力林木育種科学技術センター長
 - ・ プロジェクト関係者代表
- 4) 日本側構成員
 - ・ チーフアドバイザー
 - ・ 業務調整員
 - ・ チーフアドバイザーにより指名された専門家
 - ・ JICA中国事務所代表
 - ・ 必要に応じ、JICAにより派遣された関係者

注記：在中国日本大使館員はオブザーバーとして出席できる。

附表Ⅷ プロジェクト組織図



16

2

中华人民共和国政府有关部门与国际协力事业团
关于中日合作林木育种科学技术中心项目

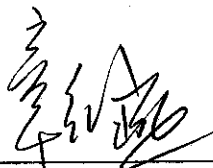
实施协议会谈纪要

根据 2001 年 7 月 4 日中华人民共和国国家林业局与日本短期调查团签署的会谈纪要，中华人民共和国有关部门与国际协力事业团（以下称「JICA」），通过 JICA 中国事务所长，就中日合作林木育种科学技术中心项目的有效实施及两国政府应采取的必要措施继续进行了协商。

协商的结果，双方一致同意按附件所列各项内容向各自政府提出建议。

本纪要用中文、日文和英文书就，正本各一式两份，各种文本具同等效力。如中文和日文文本在解释上有出入时，以英文文本为准。

2001 年 9 月 5 日
于北京市



章红燕

中华人民共和国国家林业局
国际合作司
副司长



樱田幸久

日本国国际协力事业团
中国事务所长

附件

一. 两国政府的合作

1. 中华人民共和国政府与日本国政府就实施中日合作林木育种科学技术中心项目（以下称「项目」）进行合作。
2. 项目依照附表 1 的基本计划来实施。

二. 日本国政府应采取的措施

根据日本国政府现行法律和法规，按照日本政府技术合作的一般程序，由日本国政府承担费用，通过 J I C A 采取以下的措施。

1. 派遣日本专家
日本国政府依照附表 2 派遣日本专家来华工作。
2. 提供器材
日本国政府提供附表 3 所列的实施项目所必要的仪器、设备及其他材料（以下称「器材」）。器材在卸货港口或机场以到岸价格（C I F）交付中华人民共和国政府有关部门，并归中华人民共和国所有。
3. 接收研修人员
日本国政府接收与项目有关的中国人员赴日进行技术进修。
4. 根据日本现行法律和法规，为保证项目顺利执行，日本国政府通过 J I C A 采取特别措施，承担基础设施建设、植树造林及骨干技术人员培训所必要经费的一部分。

三. 中华人民共和国政府应采取的措施

1. 中华人民共和国政府通过有关部门、受益单位及团体参与项目，在项目实施中及结束后，采取必要的措施确保项目自主运行。
2. 中华人民共和国政府应确保中国有关人员在合作项目中掌握的技术、知识作为与日本国技术合作的成果，贡献于中华人民共和国经济和社会的发展。
3. 中华人民共和国政府为上述二之 1 中的日本专家及其家属提供附表 4 中所列的在中国境内享有的特殊待遇、免税及方便，提供不低于第三国或国际机构所派遣执行同样任务的专家所享有的特殊待遇、免税及方便。
4. 中华人民共和国政府应确保在与附表 2 所列的日本专家协商的基础上，使上述二之 2 中的器材在项目的实施中得到有效的利用。
5. 中华人民共和国政府要确保中方进修人员在日本技术进修中获得的知识和经验有效地应用于项目的实施而采取必要的措施。
6. 按照中华人民共和国现行法律和法规，由中华人民共和国政府负担费用，为

项目实施采取以下必要的措施：

- (1) 配备附表 5 所列的中方对口人员及办事人员。
 - (2) 配备附表 6 所列的土地、建筑物及附带设施。
 - (3) 除上述二之 2 中通过 J I C A 提供的器材以外，提供或更换项目中所必要的仪器、设备、器具、车辆、工具备件及其他物品。
 - (4) 为日本专家提供公务出差时的交通方便及项目所在地的市内交通费。
 - (5) 为日本专家及其家属提供适当并附带家具的居住设施。
7. 根据中华人民共和国现行的法律和法规，中华人民共和国政府采取以下必要措施：
- (1) 负担上述二之 2 中的器材在中华人民共和国境内的运输、安装、操作及维护所必须的费用。
 - (2) 负担上述二之 2 中的器材在中华人民共和国境内所需缴纳的关税、国内税及其他税费。
 - (3) 负担项目实施所必要的费用。

四. 项目管理

1. 中国国家林业局国有林场和林木种苗工作总站协调办公室主任，作为项目负责人对项目的实施负总责。
2. 中日合作林木育种科学技术中心主任，作为项目的主任对项目的运行及管理负责。
3. 日本首席顾问（专家组组长）对实施项目的有关事项向项目负责人及项目主任提出必要的意见和建议。
4. 日本专家就项目实施的有关技术事项对中方对口人员提供必要的技术指导和建议。
5. 为了有效而成功地实施项目，按附表 7 所述职能和组织机构设立联合委员会。
6. 项目的组织图如附表 8 所示。

五. 联合评价

为确认项目的进展程度，在项目实施中期及合作结束前 6 个月，通过 J I C A 和中华人民共和国有关部门，由两国政府共同对项目进行评价。

六. 对日本专家的赔偿要求

从事项目合作的日本专家在华执行本职工作，或在项目执行当中，或在执行与项目有关的工作中，发生被提出赔偿要求的情况时，中华人民共和国政府承担有关赔偿的责任。但若系日本专家故意或因其重大过失而产生的赔偿要求则不在此规定之内。

七. 相互协商

两国政府对由本附件产生的或与本附件相关的主要事项进行协商。

八. 促进对项目的理解和支持

为促进对项目的理解和支持，中华人民共和国政府将采取适当的措施，使项目为中华人民共和国人民广泛了解。

九. 合作期限

本项目合作期限从 2001 年 10 月 18 日起，为期 5 年。

附表 1 基本计划

附表 2 日本专家

附表 3 器材

附表 4 日本专家享有的权益及方便

附表 5 对口人员及办事人员

附表 6 土地、建筑物及附带设施

附表 7 联合委员会

附表 8 项目组织图



2

附表 1 基本计划

上位目标

通过项目成果的普及，在中国南方各省完善林木育种事业的基础。

项目目标

中日合作林木育种科学技术中心能获得持续林木育种事业所必要的技术能力。

项目成果

1. 开发多世代选择育种技术（湖北省）
2. 开发病虫害抗性育种技术（安徽省、湖北省）
3. 开发引进育种技术（湖北省）
4. 开发遗传资源保存技术（湖北省）
5. 开发改良种苗生产技术（湖北省）
6. 实施研修培训事业，普及南方各省的技术职员的育种技术（湖北省）

项目活动

- 1-1 支援湖北省林木育种事业计划的制定
- 1-2 开发优树等的测定技术
- 1-3 开发子代优树的选择技术
- 1-4 开发子代优树的杂交技术
- 1-5 开发材质等测定技术
- 1-6 开发组织培养等增殖技术
- 1-7 开发数据库管理技术
- 2-1 开发杨树类天牛抗性育种技术
- 2-2 开发马尾松松材线虫抗性育种技术
- 3-1 开发引进早熟树种等的早期选择与测定技术
- 4-1 开发遗传资源的现地保存技术
- 4-2 开发遗传资源的异地保存技术
- 4-3 开发生殖质等长期保存技术
- 5-1 开发育种苗的生产技术
- 5-2 开发种子园的遗传管理技术
- 6-1 完善研修的管理运行机构
- 6-2 掌握研修的需求及特定研修的领域
- 6-3 制定技术研修计划
- 6-4 开展研修活动
- 6-5 评价研修成果

附表 2 日本专家

1. 首席顾问（专家组组长）
 2. 业务协调员
 3. 以下各领域的长期专家
 - 1) 选择育种
 - 2) 抗性育种
 - 3) 引种和苗圃管理
 - 4) 遗传资源
- 注：首席顾问及业务协调员可兼任上述领域的长期专家
4. 为保证项目的顺利实施应需要派遣有关领域的短期专家

附表 3 器材

- 1 以下各领域所需的仪器、设备、工具、备件及材料等
 - 1) 选择育种
 - 2) 抗性育种
 - 3) 引种和苗圃管理
 - 4) 遗传资源
- 2 项目实施所必要的车辆及其他器材

附表 4 日本专家享有的权益及方便

- 1 中华人民共和国政府免征从国外汇来的报酬及与之有关的，需要缴的所得税及其他税金。
- 2 中华人民共和国政府免征日本专家及其家属携带的个人用品及与业务有关的器材的关税。
- 3 中华人民共和国政府提供医疗上的方便。

附表 5 对口人员及办事人员

- 1 项目负责人
国家林业局国有林场和林木种苗工作总站项目协调办公室主任
- 2 项目主任
中日合作林木育种科学技术中心主任
- 3 以下各领域的对口人员
 - 1) 选择育种
 - 2) 抗性育种

- 3) 引种和苗圃管理
- 4) 遗传资源
- 4 办事人员等
 - 1) 管理人员
 - 2) 财会人员
 - 3) 翻译
 - 4) 司机
 - 5) 其他必要的人员

附表6 土地、建筑物及附带设施

- 1 土地
 - 1) 项目办公室及有关设施的用地
 - 2) 苗圃及实验林
- 2 建筑物及设施
 - 1) 项目办公室
 - 2) 专家工作室
 - 3) 办公室
 - 4) 培训教室及有关设施
 - 5) 其他

Z.



附表7 联合委员会

1 职能

联合委员会一年至少开一次会，或在必要时召开会议，具有以下职能：

- 1) 根据实施协议会谈纪要(R / D)审核批准项目制定的年间实施计划
- 2) 基于上述的年间实施计划研讨技术合作全体进展的情况
- 3) 对技术合作上发生的，或与技术合作相关的主要事项进行协商，交换意见。

2 组织机构

1) 主席 中国国家林业局国际合作司长

2) 副主席 中国湖北省林业局长

3) 中国方面委员

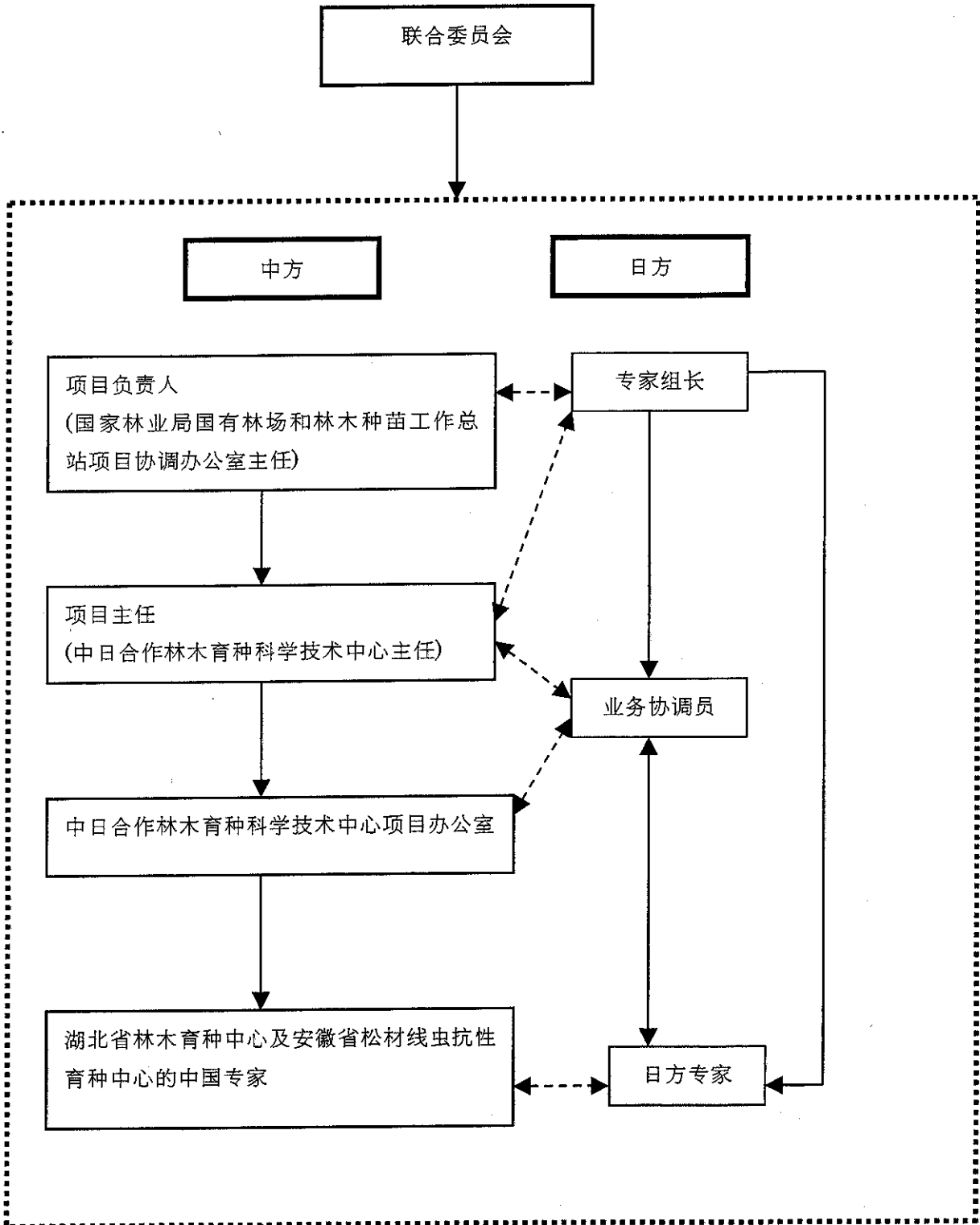
- * 国家科学技术部国际合作司代表
- * 国家林业局国际合作司代表
- * 国家林业局国有林场和林木种苗工作总站代表
- * 湖北省林业局代表
- * 安徽省林业厅代表
- * 湖北省林木种苗管理站代表
- * 安徽省林木种苗总站代表
- * 中国林业科学研究院代表
- * 北京林业大学代表
- * 南京林业大学代表
- * 湖北省林业科学研究院代表
- * 国家林业局国有林场和林木种苗工作总站项目协调办公室主任
- * 中日合作林木育种科学技术中心主任
- * 项目代表

4) 日本方面委员

- * 专家组长
- * 业务协调员
- * 由专家组长指定的专家
- * J I C A中国事务所代表
- * 根据需要由J I C A派遣的有关人士

注：驻中国日本大使馆员可以观察员身份参加会议

附表 8 项目组织图



乙

107